

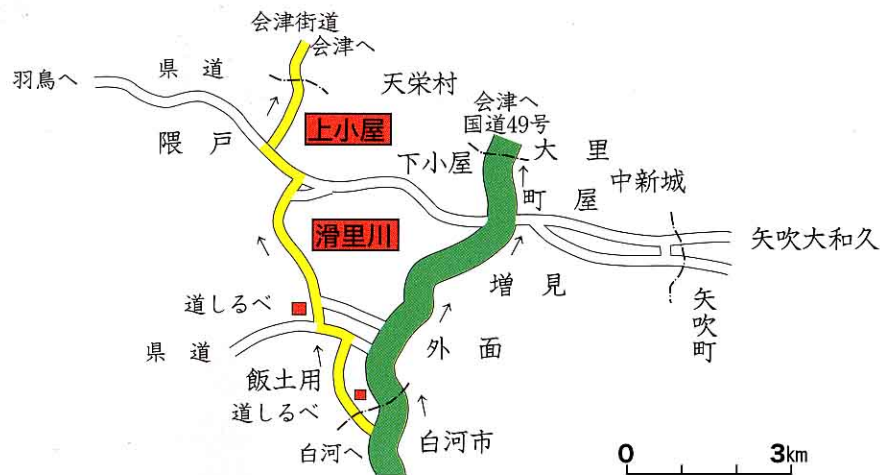
(3) 交通と村のようす

① むかしの道路

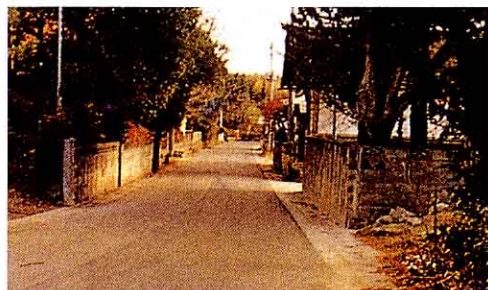
むかしは、白河から会津へ行く道が、大信の村の中を通っていました。それは白河の女石 - 広谷地 - 二枚橋 - 豊地 - 飯土用 - 滑里川 - 上小屋 - 牧の内 - 長沼 - 勢至堂峠 - 会津を結ぶ、会津街道で、古くから会津へ行く道として利用されていました。明治の中ごろになって、白河 - 増見 - 町屋 - 大里 - 長沼 - 勢至堂峠を越えて会津に行く茨城街道になり、村の中央を南北に通るようになりました。

矢吹の町をとおっている、旧国道はむかしは奥州街道といい、関東と東北を結ぶ大切な道路として利用されていました。

むかしの道路



今の上小屋の家なみ



今の滑里川の家なみ